

抗酸化療法



医療法人 柏瀬眼科

抗酸化療法について

患者さん本人の持つ自己治癒力を高めることを目的に、以下のメニューを提案しています。

①自家血オゾン療法

酸化ストレスとして適量のオゾンを血液中に投与することにより、抗酸化力や免疫力を高める治療法です。

（アンチエイジング、動脈硬化性疾患、関節、筋肉などの運動器疾患やガンの治療に）

②血液バイオフィトセラピー（紫外線 C 波血液照射療法）

採取した血液に殺菌効果の高い紫外線 C 波を当てて再び身体の中に戻すことにより、細菌やウイルス、真菌、寄生虫など病原体を殺菌します。

（偏頭痛、喘息、気管支炎、ウイルス感染に）

③高濃度ビタミン C 点滴

サプリメントで摂取する量（1～2g）の約 25～50 倍量の高濃度ビタミン C を点滴で投与することにより、効果的にビタミン C を細胞内に取り込む治療法です。

（細胞の活性化、アンチエイジング、抗がん作用、がん予防に）

④グルタチオン点滴

トリペプチドというアミノ酸を原料にし、体内で生合成される「グルタチオン」を投与することで、細胞内の毒物を排泄（デトックス）し、抗酸化作用を促します。

（肝臓の解毒力アップ、金属アレルギー、花粉症、アレルギー疾患、アトピー等に）

⑤イオンデトックス

イオン化したぬるま湯で足浴をします。イオンの効果で内々に溜まった毒素を引きつけ、体外に排出します。

（各療法の補助に）

⑥水素吸入療法

水素発生装置を使って直接水素を吸入することで、効果的に抗酸化力を高められます。

（各療法の補助に）

① 自家血オゾン療法

1、ドイツで 1 万人以上の医師が選んだ“オゾン療法”

自家血オゾン療法（以下、オゾン療法と記す）とは、適量の酸化ストレスとしてオゾンを生体内に投与することにより、抗酸化力、免疫力を強化する治療法です。

（酸素は O_2 、オゾンは O_3 ）

オゾン療法は日本国内ではあまり知られていませんが、ヨーロッパでは 1920 年頃から使用されており、故エリザベス女王の母親が受けていたことで有名です。イギリス・オーストリア・ロシア等では、すでに確立・認知された治療法です。

日本酸化療法医学会 (<http://isom.jp/>) は米国・ヨーロッパのエキスパートドクターとのネットワークがあり、そこから得られた日本で未だ知られていない有益な治療法を日本に紹介する活動を行っております。その認定医によるオゾン療法の国内実施数は総計 17 万例を超えており、当院も日本酸化療法医学会の認定を受け、施術しております。

2、方法

(1) 100~150 mlの血液を採取します。

採取した血液は、最初どす黒い色をしています。

(2) 定量の医療用オゾンに血液を加えます。

投与後に代謝と免疫系を活性化するために、最も効果のあるオゾン量を正確に測定して投与します。血液とオゾンが反応すると、どす黒い血液が一瞬で鮮やかな赤に変色します。

(3) オゾンで活性化された綺麗な血液をそのまま戻します。

3、適応

(1) 眼科疾患

・白内障、緑内障、加齢黄斑変性、網膜動脈閉塞症、網膜静脈閉塞症、糖尿病網膜症など

(2) 内科的疾患

・ウイルス感染、アレルギー性疾患、ガンなどの悪性疾患、生活習慣病など

② 血液バイオフィトセラピー（紫外線 C 波血液照射療法）

1、感染症に効果的

血液バイオフィトセラピーは、採血した血液に殺菌効果の高い紫外線 C 波を当てて、それを再び身体に戻すという治療法です。

特に、偏頭痛・喘息・気管支炎・ウイルス疾患に効果的です。紫外線の照射により、各種の細菌・ウイルス・真菌・寄生虫を直接的・間接的に不活化する作用があります。作用機序としては、血液の紫外線照射器によって一重項酸素や過酸化物質などの活性酸素が発生することにより感染症に有効である、とされています。

2、方法

(1) 50～100 ml血液を採取します。

(2) 採取した血液に紫外線 C 波を照射します。

(3) 血液を再び静脈内に戻します。手足の血流が良くなり代謝が上がるため、目や頭がスッキリしたと体感される方が多いです。

3、適応

(1) 眼科疾患

- ・糖尿病網膜症など

(2) 内科的疾患

- ・偏頭痛、貧血、気管支喘息、心筋梗塞、脳梗塞、各種感染症など

③ 高濃度ビタミンC点滴

1、なぜ高濃度が必要なのか？

通常サプリメントやドリンクで摂取するビタミンCは1~2g程度ですが、高濃度ビタミンC療法では、25~50gのビタミンCを用います。

食べ物として摂取されたビタミンCは、必要量を超えると尿中に排泄されてしまいます。

しかし、レモン2,500個分に相当する上記の量を静脈に点滴すると、高濃度のビタミンCが脳・副腎・白血球に直接働き、免疫能の増強や体内環境の改善に作用します。きちんと、細胞内にビタミンCを作用させるために、この量のビタミンCを投与する必要があります。

2、なぜ高濃度ビタミンC点滴は高価なのか？

国内の注射液は、低用量でしかも保存剤・安定剤が含まれているため、安全に使用できるとは言い難いです。このため当院では、高用量のビタミンC注射液をアメリカから冷蔵にて空輸しています。

3、ビタミンCをアンチエイジングにもがんの補助療法にも用いる理由

当院では、アンチエイジングにもがん治療の補助としても用いています。なぜならば細胞が元気になる治療法は、健康な人にも病気の人にも共通なのです。

がん治療の補助療法としてビタミンCを用いる理由に、その特異な作用機序があります。

ビタミンCは、がん細胞を選択的に攻撃するメカニズムを持っています。またブドウ糖と似た構造式を持っており、ブドウ糖の吸収能が高まっているがん細胞によく取り込まれます（がん細胞は甘いものが大好物）。がん細胞に取り込まれたビタミンCは、過酸化水素を発生させて、がん細胞にダメージを与えます。正常な細胞は、過酸化水素を分解するカタラーゼという酵素を持っているため、ダメージを受けません。このようにビタミンCは、選択的にがん細胞を攻撃する天然の抗がん作用を有しているのです。

人の身体には60兆個の細胞があり、毎日1000~2000個のがん細胞が自然発生しています。健常者に対しても、このビタミンCは、がん細胞のお掃除と正常細胞の免疫機構の増強に働くため、アンチエイジングに有効なのです。

④ グルタチオン点滴

1、グルタチオンとは何か

グルタチオンは、グルタミン酸・システイン・グリシンというアミノ酸を原料にして体内で合成されるトリペプチドといわれる物質です。肝臓や肺、心臓、血液、脳などあらゆる臓器に存在しています。

2、グルタチオン点滴は従来、日本で用いられてきた治療法である。

グルタチオンは細胞内の毒物排泄・活性酸素の消去により細胞を活性化させる働き(抗酸化作用)があります。特に、肝臓の解毒機能を回復させる作用があり、身体にとっては健康を維持させるのに必須な栄養素です。日本では、40年以上も前から自家中毒・つわり・金属中毒・慢性肝炎の治療に使われていました。

3、グルタチオン点滴はパーキンソン病に有効

アメリカでは、パーキンソン病の機能改善と病状の進行遅延目的に多くの施設でグルタチオン点滴が施行されています。パーキンソン病患者の脳内ではグルタチオンの量が非常に減っており、そのためにドーパミン不足から諸症状を引き起こされていると言われています。このため、不足しているグルタチオンを補充することでドーパミンの産生を促し、症状の改善に寄与していると考えられます。

4、当院で高濃度グルタチオン点滴を用いる目的

(1) 肝臓の解毒機能を補助し、重金属・化学物質の解毒(デトックス)を促す。

花粉症・アレルギー性鼻炎・気管支喘息・アトピー性皮膚炎

原因不明の湿疹などのアレルギー疾患・免疫疾患・悪性腫瘍など様々な疾患の方の体内に蓄積している化学物質や重金属を排出させます。

(2) パーキンソン病などの神経疾患における神経機能の回復

⑤ イオンデトックス

1、デトックス (detox) とは

解毒という意味です。汚れた空気や水、食品に残る農薬・タバコなどの影響により私たちの体内には知らず知らずのうちに毒素が溜まっています。

「イオンデトックス」はイオンの効果で体内に溜まった毒素を引き付け、アプリーケーターを通して排出します。透明な水が30分後には排出された毒素でドロドロになります。施術後の水の色で毒素の確認ができ、生活習慣病改善の目安にもなります。

2、イオンデトックスの方法

- (1) お湯(40~42度)に5グラムの食塩を入れます。
- (2) アプリーケーターを容器の縁にかけ、半分くらいまでお湯に浸けます。
- (3) 導子を貼り付け、足をお湯に浸けます。
- (4) 電源を入れ、適当な施術モードを選択し、開始します。

3、期待できる効果

- ・冷え性、肩こりの解消
- ・肌荒れ、ニキビの改善
- ・疲労回復
- ・ストレス解消
- ・リラクゼーション効果など

⑥ 水素吸入療法

全身の細胞の代謝を向上させ、自己治癒力を高める目的で水素吸入療法を行います。特に、点滴療法と組み合わせることで、相乗効果が期待できます。

■期待できる効果

- 病気の予防や改善
脳梗塞、パーキンソン病、認知症、糖尿病、高血圧、癌の副作用、アトピー性皮膚炎、アレルギー疾患
- アンチエイジング（老化予防）
しわ、たるみ、しみ、抜け毛など
- 肥満
- 疲労回復、二日酔い予防、筋肉痛予防

■水素の特徴

数ある“抗酸化物質”の中でも、「水素」は特に優れています。

◎水素とは？

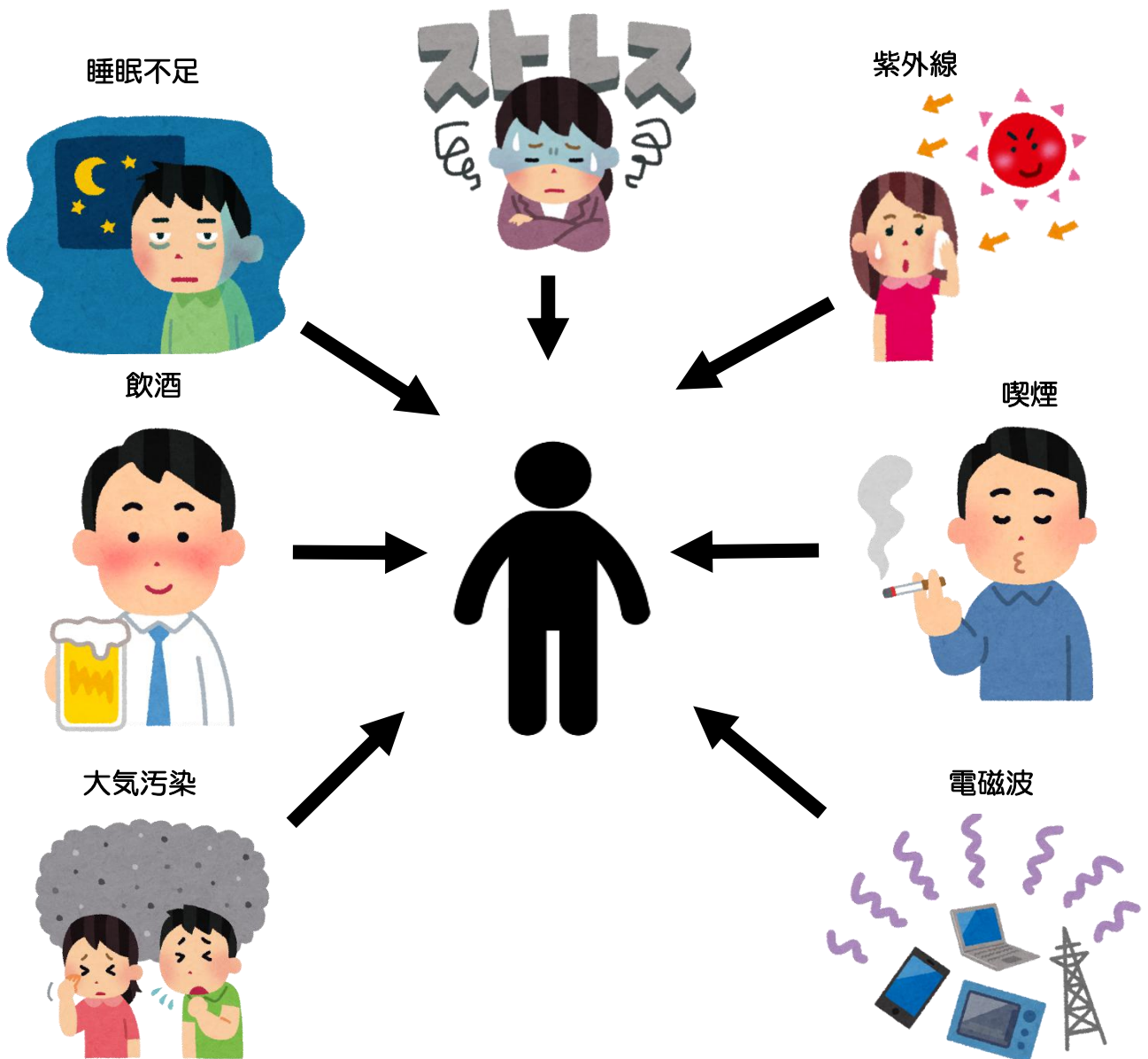
宇宙で一番小さな元素である水素(H)は、原子番号が1番。陽子1個と電子1個から出来ており、すべての元素の元になっています。その水素ガス(H₂)には「抗酸化作用」があります。なぜなら、酸素(O)と結びついて、水(H₂O)になるからです。様々な体の不調、病気、老化は「細胞の酸化」が大きな原因で、身体の中で作られる「活性酸素」が細胞を傷つけるために生じています。したがって、いかに「活性酸素」を身体から除去するかが問題となります。水素（正確には水素ガス H₂）には抗酸化作用があり、体内で活性酸素(O)と結びついて水(H₂O)となり、汗や尿として身体の外に排出してくれるのです。

◎水素の特長

抗酸化物質にも色々あります（ビタミンC、ビタミンE、セサミン、カテキン、ポリフェノール、セレン、コエンザイムQ10など）が、水素もその一種として認められています。水素の特長は、その他の抗酸化物質と比べて非常に小さい物質であるため、身体中の隅々まで広がり、効率的に活性酸素を無害にしてくれます。ビタミンや高分子の物質が通ることができない血液脳関門（BBB）も水素なら通ることができ、脳細胞の悪質な活性酸素にもアプローチすることができます。

◎活性酸素とは？

酸素は人が生きていくために不可欠なものです。しかし、そのうち2%が細胞を酸化させ、強い酸化力を持つ「活性酸素」になると言われています。過剰な運動や心身のストレスが、より多くの「活性酸素」を生み出すことも分かっています。活性酸素は大きく「善玉」と「悪玉」の2種類に分けられます。「善玉の活性酸素（スーパーオキシド等）」は、身体の殺菌や解毒作用の働きをします。一方、酸化力が非常に強い「悪玉の活性酸素（ヒドロキシラジカル等）」は細胞を傷つけ、身体の不調や病気の原因となり、老化を促進します。身体の問題の90%は、活性酸素からくるとも言われています。そのため、この「悪玉の活性酸素」を抗酸化作用のある物質を使って取り除くことは、とても重要なのです。水素は、善玉の活性酸素を残し、悪玉の活性酸素だけを選択的に除去することができる点が大きな特徴です。



<各種料金>

◆カウンセリング料（初診 2,200 円・再診 1,100 円）が別途かかります

※最終来院日から 3 か月過ぎた場合は初診とさせていただきます

①自家血オゾン療法、②血液バイオフィトセラピー（紫外線 C 波血液照射療法）

初回お試し	11,000 円
2 回目以降	16,500 円

①+②

初回お試し	16,500 円
2 回目以降	22,000 円

③高濃度ビタミン C 点滴

	12.5 g	25 g	50 g
初回お試し	5,500 円	8,800 円	12,100 円
2 回目以降	7,700 円	11,000 円	14,300 円

④グルタチオン点滴

	1200mg	1400mg	1600mg	1800mg	2000mg
初回お試し	4,400 円	4,950 円	5,500 円	6,050 円	6,600 円
2 回目以降	5,500 円	6,050 円	6,600 円	7,150 円	7,700 円

⑤イオンデトックス

初回お試し	550 円
2 回目以降	2,200 円

⑥水素吸入療法

初回お試し	550 円
2 回目以降（45 分）	1,100 円
カニューラ代	550 円

※全て税込価格です

<キャンセルポリシー>

抗酸化療法は全て完全予約制とさせていただきます。

準備のため、当日キャンセルは料金の 1 回分の 50%を頂きます。

前日の 17:00 までにキャンセルのご連絡をして頂いた場合、キャンセル料金は発生いたしません。（前日が休診日もしくは午後休診日の場合は、前々日 17:00 まで）